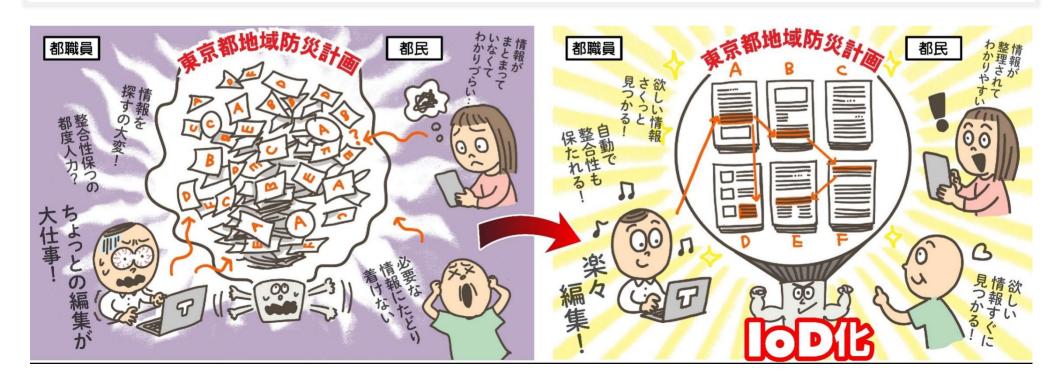
No.4

東京都地域防災計画のIoD(Internet of Documents)化による防災力向上

0.6 億円程度 (事業期間 3年間)

東京都地域防災計画や関連する防災文書の整合性を自動検査し、必要な情報へのアクセスを容易にする仕組みを構築する(IoD化)。編集の負担が軽減されるとともに、都民が様々な情報をこれまでよりも素早くかつ正確に入手できるようになる。



No.4

事業内容の詳細

O Internet of Documents (IoD, 文書のインターネット) とは?

• 様々な製品やサービスがインターネット経由でつながるInternet of Things (モノのインターネット)と呼ばれる考え方を、文書に適用したもの。文書同士の整合性を自動チェックできるほか、構造が整理され、様々な方式で閲覧可能となる。

O 東京都地域防災計画や関連防災文書をIoD基盤上に構築・公開

 自治体に策定が義務づけられている「地域防災計画」は都民に有用な情報が多い 一方、何千ページもの文章で、改訂も頻繁に行われており、理解することは容易で はない。IoD化により、必要な情報に素早くかつ正確にアクセスできるようにする。

事業実施による効果

- 様々な視点で防災計画が閲覧可能になり、都民の防災への理解、防災力が向上する。
- 都職員による東京都地域防災計画の編集作業の負担が長期的に軽減される。